

財務・データセクション

財務・非財務サマリー

| | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 会計年度： | (単位：億円) | | | | |
| 売上高 | 14,555 | 20,389 | 24,581 | 27,896 | 27,882 |
| 営業利益 | △953 | 873 | 1,905 | 1,910 | 1,388 |
| 経常利益 | △1,052 | 1,010 | 1,820 | 2,090 | 986 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | △3,123 | 740 | 1,687 | 1,547 | 410 |
| 販売台数(千台) | 801 | 937 | 834 | 815 | 842 |
| 研究開発費 | 1,014 | 907 | 1,072 | 1,146 | 1,267 |
| 設備投資 | 764 | 627 | 786 | 936 | 1,006 |
| 減価償却費 | 659 | 536 | 601 | 677 | 740 |
| 自己資本当期純利益率(ROE)(%) | △48.8 | 13.3 | 24.0 | 17.1 | 4.2 |
| 1株当たりデータ | (単位：円) | | | | |
| 当期純利益金額 | △209.88 | 49.76 | 113.38 | 103.97 | 28.70 |
| 潜在株式調整後当期純利益金額 ^{※1} | — | 49.74 | 113.36 | 103.96 | 28.70 |
| 配当金 | 0.00 | 0.00 | 5.00 | 10.00 | 15.00 |
| 会計年度末 | (単位：億円) | | | | |
| 総資産 | 18,563 | 19,284 | 22,015 | 24,545 | 22,459 |
| 純資産 | 5,253 | 6,303 | 8,304 | 10,445 | 9,736 |
| 現預金 | 4,557 | 5,115 | 5,960 | 6,742 | 4,525 |
| 有利子負債 | 4,833 | 4,805 | 4,283 | 4,924 | 3,148 |
| 自己資本比率(%) | 27.4 | 31.5 | 36.4 | 41.2 | 41.6 |
| 発行済株式総数(千株) | 1,490,282 | 1,490,282 | 1,490,282 | 1,490,282 | 1,460,477 |
| CO ₂ 排出量 ^{※2} | | | | | |
| スコープ1(直接排出) ^{※3} (千t-CO ₂) | 80 | 92 | 95 | 90 | 85 |
| スコープ2(間接排出) ^{※3} (千t-CO ₂) | 285 | 319 | 271 | 264 | 243 |
| スコープ3(千t-CO ₂ eq) | 20,286 | 28,294 | 28,710 | 31,743 | 29,713 |
| エネルギー使用量 ^{※2} | | | | | |
| (1次・2次エネルギー)(PJ) | 7.0 | 8.2 | 8.2 | 7.5 | 7.1 |
| 廃棄物発生量 ^{※2} (千t) | 109 | 143 | 141 | 167 | 142 |
| 取水量 ^{※2} (千m ³) | 4,420 | 4,640 | 4,659 | 4,268 | 4,155 |
| 管理職登用女性比率 ^{※4} (%) | 4.3 | 5.1 | 6.1 | 6.3 | 6.4 |
| 年次有給休暇取得率 ^{※5} (%) | 99.2 | 89.5 | 94.8 | 93.4 | 91.2 |
| 災害度数率 ^{※6} | 0.30 | 0.20 | 0.31 | 0.33 | 0.16 |
| 社員相談室(ヘルプライン)への 通報・相談数(件) | 112 | 109 | 74 | 74 | 104 |

(注) 会計方針の変更などは前事業年度以前に遡及適用していません。

※1：2020年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失金額であるため記載していません。

※2：対象拠点：各年度時点の環境マネジメント対象会社(含む当社)

※3：CO₂排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」にもとづく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に準ずる。

海外電力の排出係数は、電気事業者別排出係数。一部拠点は、各年度のIEA「CO₂ Emissions from Fuel Combustion」またはIEA「Emission factors」の排出係数。

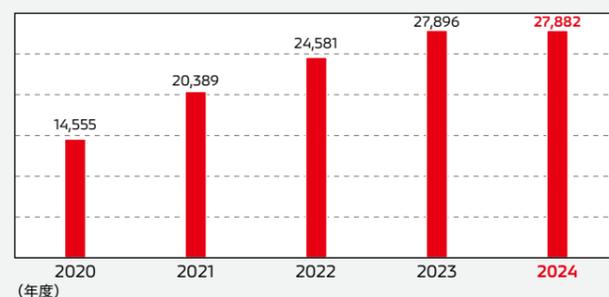
※4：3月末時点。比率は単体の従業員数に基づき、全管理職に執行役員を含め算出。

※5：年次有給休暇 当年度取得日数(前年度繰越分+当年度付与分) / 年次有給休暇 当年度付与日数 ×100

※6：延べ100万労働時間あたりの休業・不休業災害件数

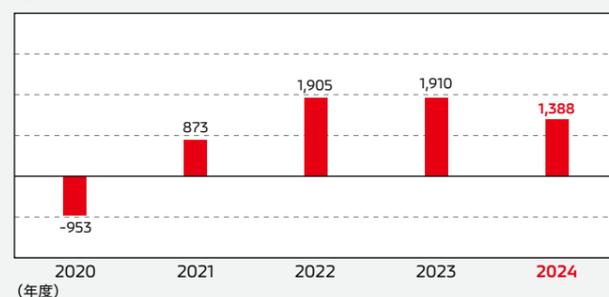
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



経営成績

経営成績の概況

2024年度は、タイ・インドネシアの自動車需要回復の遅れや、世界的な車両供給制約緩和に伴う競争激化など、三菱自動車を取り巻く販売環境は厳しさを増しました。

そのような環境下において、三菱自動車は、上期までは、インフレ対応など固定費が増加する中でも、為替の追い風もありしっかりと収益を伸ばすことができましたが、下期以降は、コスト通貨のタイパーツ独歩高もあり、為替もマイナス影響に転じました。厳しい状況下ではありましたが、新型車を主体とした台数増加を着実に収益に繋げると同時に、費用削減の徹底により、第3四半期に修正した通期営業利益見通しを上回っての着地となりました。

結果、通期販売台数はグローバルで前年度比3%増の84万2千台、売上高は前年度比微減の2兆7,882億円となりました。営業利益は前年度比522億円減の1,388億円、経常利益は前年度比1,104億円減の986億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度比1,137億円減の410億円となりました。

財政状態の概況

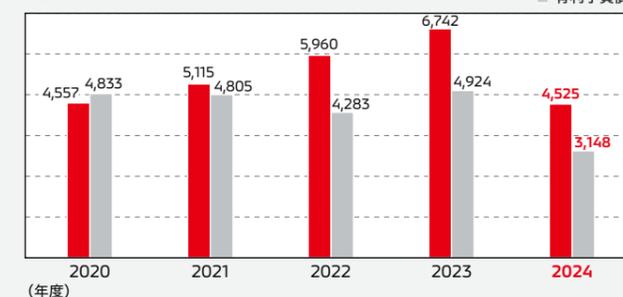
2024年度末の総資産は前年度末比2,086億円減の2兆2,459億円となりました。そのうち現金及び預金は前年度末比2,217億円減の4,525億円となりました。負債合計は前年度末比1,376億円減の1兆2,724億円となり、そのうち有利子負債残高は前年度末比1,776億円減の3,148億円となりました。純資産は前年度末比709億円減の9,736億円となりました。

キャッシュ・フローの概況

2024年度末における現金及び現金同等物の残高は、前年度末残高6,742億円に対し2,241億円減少し、4,501

現預金/有利子負債

(億円)



億円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは1,747億円の収入超となりました。この収入超は主として、税金等調整前当期純利益および減価償却費によるものです。また、前年度比では、339億円の収入増加となりました。この収入増加は主として、棚卸資産の減少および仕入債務の増加によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは1,148億円の支出超となりました。この支出超は主として、設備投資の支払によるものです。また、前年度比では、241億円の支出減少となりました。この支出減少は主として、設備投資の支払減少によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは2,748億円の支出超となりました。この支出超は主として、長期借入金の返済によるものです。また、前年度比では、3,125億円の支出増加となりました。この支出増加は主として、借入金の返済増加によるものです。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

| (各年度) | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-------------------|-------|------|------|------|------|
| 自己資本比率(%) | 27.4 | 31.5 | 36.4 | 41.2 | 41.6 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 25.2 | 25.5 | 35.3 | 30.6 | 24.4 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 | △11.6 | 4.1 | 2.5 | 3.5 | 1.8 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | △8.0 | 23.2 | 47.9 | 24.0 | 25.7 |

※自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) 指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済み株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

キャッシュ・フロー

(億円)

